

東京都下水道技術実習センター

所在地：東京都江東区



日本初の下水道施設の大規模実習センターとして

本施設は東京都江東区の砂町水再生センター内に位置し、下水道管理者の人材育成と技術継承を図るため、日本で初めての大規模下水道技術実習センターとして整備された。実習棟内に20種、屋外に12種の実習装置を設置し、下水道管理者の育成・訓練カリキュラムに対応している。

実習棟と屋外施設との連携・人の動線を考慮し、建物は平屋建ての計画としており、水平方

向に長く伸びた外観が特徴的であることから、水平を強調するデザインとしている。実習施設という用途上、時代に則した育成・訓練カリキュラムに対応できるように、建物も将来の設備更新、機能変更等に対応できるように計画されている。例えば、外壁ガラリについては、将来の実習内容変更に対応できるように柔軟に考慮されたものであるため、横長の形状としている。



清潔感のある玄関部分



窓サイズは室用途によって使い分け、建物に様々な表情をつけた。



水平性を強調するために各部にエッジのあるデザインを施した。



実習施設では様々な分野で見本を交えて学ぶことができる。(写真は配筋の体験施設)